

令和2年度 福生市立学校 学校経営方針

学校名 福生市立福生第三小学校

校長名 武田 一 教

公印

教育目標

- ◎よく考え やりぬく子〔確かな基礎学力、粘り強く学びに向かう力、思考力・判断力・表現力〕
- 思いやりのある 心豊かな子〔自己肯定（有用）感、他者意識・人間関係形成力〕
- 進んで体を鍛え 健康な子〔主体性・自主性、基礎身体能力〕

1 目指す特色ある学校像

「背中を押してあげれば飛躍できる子供たちがいる」を合言葉に、教師の役割の自覚のもと「子供の成長」を核とした学校経営を行う。

- 子供一人一人を真に大切にし、確実に成長させる学校
 - 学習規律の確立のもと、深い学びを実現する授業づくりに取り組む学校
 - コミュニティスクールとして、保護者・地域から信頼され、教育の充実を図る学校
- また、本校が目指す児童像として下記の児童像を掲げ、その児童の育成に向けて全ての教育活動を展開する。
- 自律性⇒自己の成長に向け、自己を律することができる児童
 - 主体性⇒取組への自覚を深め、自主的に物事に取り組む児童
 - 協調性⇒自他を大切にし、協力して活動できる児童

2 学校経営の目標

（1） 中期的目標

- 自己実現の基礎を養うために、知・徳・体のバランスがとれた児童を育成する。
- 目指す学校像と学校経営方針を実現するために、学校力・教師力のさらなる向上を図る。
- 教育の充実を図るために、社会に開かれた学校づくりを推進する。

（2） 本年度の目標

本年度の目標の基本コンセプトとして、「伸ばす、耕す、鍛える、切磋琢磨」と「社会に開かれた学校づくり」を位置付ける。

- ①子供の「知」を伸ばす
 - ・全ての児童に確かな基礎学力の定着を図る。
 - ・粘り強く、真剣に学びに向かう児童を育成する。
- ②子供の「心」を耕す
 - ・児童の自己肯定（有用）感の向上を図る。
 - ・児童の他者意識と規範意識の向上を図る。
- ③子供の「身体」を鍛える
 - ・意欲的に身体を鍛え、積極的に運動に取り組む児童を育成する。
- ④切磋琢磨し合う教職員
 - ・確かな授業力と指導力を身に付けるために、学び合う学校風土を醸成する。
- ⑤社会に開かれた学校づくり
 - ・学校教育に関わる情報を積極的に発信することで、学校への理解と協力意識を高める。
 - ・学校教育の充実に向けて、保護者・地域等と一体となった教育活動を展開する。

3 目標達成に向けての課題

【児童の側面】

- 基礎学力未定着児童の割合の多さ。(学力定着度の差の大きさ)
- 自己肯定(有用)感や規範意識、また、粘り強く真剣に学びや運動に向かう姿勢の弱さ。

【教職員・その他の側面】

- 教育力向上に向けた組織的な学校運営や教職員の育成の不十分さ。
- 教育活動等の発信不足と地域等の教育力の組織化の不十分さ。

4 経営の具体策

(1) 子供の「知」を伸ばす

- ①「三小学びのスタンダード」を作成し、全校共通の取組により授業規律の確立を図る。
- ②朝学習の充実を図り、反復学習や振り返りの学習に取り組み、基礎学力の定着を図る。
- ③各種学力調査の結果分析や児童の実態に基づいた授業改善を行う。
- ④学ぶ意欲の向上を図り、学ぶ価値が実感できる授業づくりをすすめる。
- ⑤粘り強く取り組むことを支え、学びの達成感と充実感がもてる授業づくりをすすめる。

(2) 子供の「心」を耕す

- ①学校生活のきまり「よいこのきまり」を改訂し、年度当初に児童・保護者に説明するとともに、全校共通の姿勢で児童の規範意識を高める取組をすすめる。
- ②明確なねらいと指導計画のもと特別活動等に取り組み、低学年より着実により良い集団作りと自己肯定(有用)感の育成に努める。
- ③児童の主体的な委員会活動などを生かして挨拶の励行をすすめ、明るく前向きに生活できる学校づくりをすすめる。
- ④読書活動を推進し、本を読み切ることを積み重ねることで豊かな心と情操を養う。

(3) 子供の「身体」を鍛える

- ①中休みや昼休み時間の校庭での遊びを徹底し、健康の保持増進や体力の向上を図る。
- ②運動会や持久走週間・持久走大会、年2回の縄跳び集会等の活動を生かして、ねらいや目標の達成のために粘り強く努力する姿勢と体力の向上を図る。
- ③毎日の健康観察、毎月の保健だより、年に1回の学校保健委員会等を実施し、児童自身が健康維持・増進に主体的に取り組む力を養う。

(4) 切磋琢磨し合う教職員

- ①市教育研究奨励校としての校内研究を核として、学び合う教職員集団作りに取り組む。
- ②若手育成のためのOJTと深い学びの実現のためのOJTを組織的に実施し、教職員の力を着実に高める。
- ③特別支援教室と連携を密にすることで、特別支援教育に関する理解促進と充実を図る。
- ④地域の幼保・小・中学校等との連携を一層すすめる中で、教師力と信頼の向上を図る。

(5) 社会に開かれた学校運営

- ①学校公開や学校だより等の様々な方法で、積極的に教育活動や児童の様子を発信する。
- ②CS委員会の充実を図ることで、教職員と保護者・地域等が一つとなって児童の成長のために力を合わせる学校づくりをすすめる。

5 年度末のチェックポイント

- (1) 学校評価の各項目について、肯定的な回答が85%を超えること。
- (2) 各種学力調査等について、目標に関する項目において昨年度の数値を超えること。